

バスあいのり水産バリューチェーン改善促進協議会

■取組の背景

- ▶ 近年、燃油価格の高騰やトラックドライバーの不足により水産物の輸送コストが増大。
- ▶ 特に、少量多品種生産である地方の小規模生産者の場合、運送費負担が大きくなっていた。

■取組の目的

- ▶ 旅客用高速バスの空き荷室を活用した水産物流通システムの構築
- ▶ 受発注及び品質管理システムの構築による高付加価値化
- ▶ 地方産水産物の販路拡大

■協議会の構成員と役割

	段階	名称	役割
事業実施者	生産	株式会社安芸水産	・シラス加工品の首都圏向け出荷
	生産	銚子漁業協同組合	・水産物の生産 ・加工品の製造・出荷
	生産	三重県漁業協同組合	・水産物の生産 ・加工品の製造・出荷
	流通	株式会社アップクオリティ	・新規輸送手段の開発・運営 ・システム構築 ・販売物のPR、マーケティング
	販売	株式会社三光マーケティングフーズ、 株式会社虎杖東京、株式会社一楽荘	・出荷された水産物の調理・販売
	販売	株式会社Kurukku、 株式会社まじこカンパニー	・出荷された水産物の販売

■取組内容

生産

◆高速バス荷室を活用した水産物流通ルートの構築

- ✓ **バスあいのり便の水産物への適用**▶ 農産物で先行して実施している「バスあいのり便」として高速バスの空き荷室を利用した**小ロット輸送の取組**を水産物や水産加工品輸送に適用
- ✓ **試験出荷の実施**▶ 構成員の協力の下、地方から都内の**飲食店を対象とした出荷**を実施
- ✓ **高速バス会社との協力体制の構築**▶ 高速バスと協力体制を構築し、**空き荷室の活用**や**空き状況を把握**

加工・流通

◆IOT端末を利用した貨物管理機能によるコールドチェーンの構築

- ✓ **専用ボックスの開発**▶ 専用の保冷ボックス及び保冷剤を開発し、産地から消費地まで**低温を維持**することが可能な輸送システムを構築
- ✓ **IOT端末の活用**▶ 各保冷ボックスにIOT端末を搭載し、ボックス内の温度・湿度・位置情報を記録。さらに通信機能によって、**出荷者、購入者双方からリアルタイムで荷物の情報を確認**
- ✓ **円滑な受発注を可能にする電子システムの構築**▶ 個々に行っている受発注業務を一元化し、**ワンストップで受発注が可能な電子システム**を構築

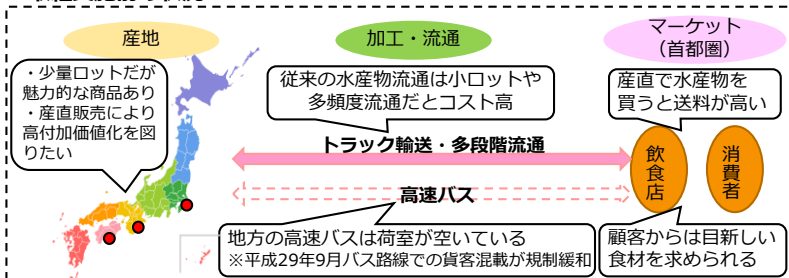
販売

◆高付加価値販売の実現による水産物の販路拡大

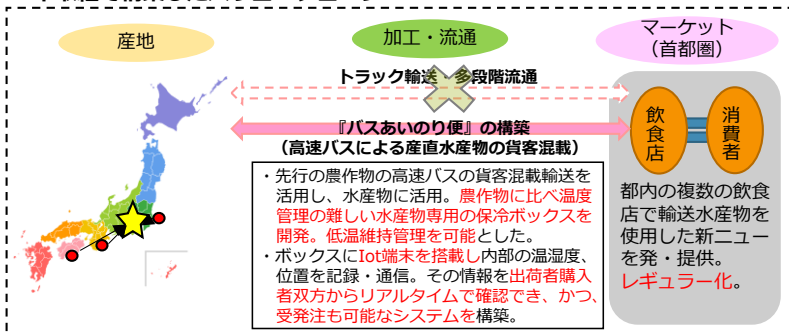
- ✓ **首都圏でのイベントの開催**▶ 一般消費者向けの試食提供イベントにより、**産地と商品の認知度向上**を図る
- ✓ **隠れた名産品の発掘**▶ 従来流通しなかった産地ならではの小ロットの商品等を首都圏の飲食店へ提供し、**新たな価値を発掘**
- ✓ **産地と消費地の連携による商品開発**▶ 生産者と飲食店が協力して**付加価値を付けた加工品を製造・販売**

高速バス荷室を活用した新たな水産物流通ルートの構築

■取組実施前の状況



■本取組で構築したバリューチェーン



■取組の現状と今後の展望

- ▶ バス会社ごとに終着地点及び集荷場所が異なるため、バス便の集中するエリアに物流拠点を作ること効率化を図っている。
- ▶ また、仕入れ先となる産地の拡大についても継続して取り組んでいる。

★本取組によって得られたバリュー★

課題解決（物流面）	高速バス荷室を活用した水産物輸送ルートの創出
付加価値向上	IOT端末を活用した貨物管理によるコールドチェーンの構築
販路開拓	地方産水産物の高付加価値化による販路拡大